

緊急議会報告会

2020年9月26日(土)

千鳥南区公民館 午後3時～午後4時30分

花見東2区公民館 午後7時～午後8時30分

古賀市議会議員 ぬま健司

報告①

新型コロナ対策

9月定例議会・一般会計補正予算（今年度5回目）新型コロナ対策 1億7612万円（市単独）

| 事業 | 補正予算額 | 内容 |
|--------------------|----------|--|
| 避難所コロナ感染防止備品等 | 2099万8千円 | ●ダンボールベッド用防災倉庫、電子血圧計、カセットガスファンヒーター |
| 自治会等コロナ感染防止補助 | 260万円 | ●自治会、校区コミュニティがコロナ感染防止の消耗品等補助（上限5万円） |
| 温泉施設インキュベーション促進改修 | 5200万円 | ●コロナの影響で閉鎖された温泉旅館（快生館）をサテライトオフィスやシェアオフィス等として活用するための改修工事（賃借料200万円、改修工事5000万円） |
| 職員テレワークテレビ会議対応 | 1106万8千円 | ●パソコン端末1024万7千円（45台）、WEB会議システム使用料19万8千円 |
| 確定申告予約受付人材派遣委託料追加 | 206万4千円 | ●確定申告・住民税申告時のコロナ感染拡大防止 |
| スマホ・クレジット納税 | 662万6千円 | ●コロナ感染拡大防止のための納税手段 |
| 新生児特別定額給付金 | 4300万円 | ●2020年4月28日から2021年3月31日に出生した新生児に1人10万円 |
| 医療機関等オンライン面会設備導入補助 | 500万円 | ●タブレット端末、無線LANルーター等購入補助 1施設20万円上限（補助率1/2） |
| 地域消費喚起キャッシュレス推進委託 | 3000万円 | ●PayPay使用で20%還元。11月1日～30日。 大手チェーン店を除く市内店舗。 |
| 成人式3中学校分散開催 | 29万8千円 | ●成人式の感染拡大防止策 |

古賀市のコロナ対策予算総額 **72億7000万円** (9月時点)

| | | |
|---|---------------|-----------------------------|
| 国の予算 65億5千万円 | 特別定額給付金 | 59億8800万円 |
| | 子育て世帯臨時特別給付金 | 9300万円 |
| 市独自の予算 7億2千万円 財源は国の 地方創生臨時 交付金 | 小規模事業者緊急支援金 | 実績 8390万円 1億円 |
| | 中小企業等応援金 | 実績 1億6390万円 2億4000万円 |
| | 温泉施設改修費 | 5200万円 |
| | 新生児特別定額給付金 | 4300万円 |
| | 児童扶養手当受給世帯支援金 | 3300万円 |
| | キャッシュレス推進委託 | 3000万円 |
| | 中3タブレット | 2500万円 |

PCR検査

インフルエンザ予防接種

免疫力アップ

地域のつながり

報告②

**薬王寺温泉施設
改修5200万円**

5月中旬

温泉経営者から旅館業の休業報告

8月3日

3役査定で改修費補正予算5200万円を決定

9月3日

補正特別委で減額修正案提出。

9月18日

5200万円を含む補正予算案が反対3、賛成15で可決

11月下旬

5000万円で設計施工一括発注。改修工事開始。12客室、大浴場、大広間など1500m²。
200万円は所有者へ家賃。

設計完成後

同様の施設を管理運営している業者に見積もり

見積もり後

見積を参考に2021年度以降の管理運営費を検討

来年3月

改修後の施設の管理運営費を予算案議会提出

予算可決後

5年契約家賃収入で管理運営費を賄う。赤字は市が負担

コロナの影響で休業した旅館施設を改修
サテライトオフィス、シェアオフィス、テナント
地方回帰を古賀市に呼び込む

誰でも考える安易な発想
市場調査がない

地域資源を活かす、関係者との協議なし
2ヶ月半で三役会で決定
5200万円は国の交付金を活用

地域住民とのつながりがない
市役所内の一部で決定
国のお金に依存

施工設計を一括発注
設計結果を見て管理運営費を見積もる
建物を先に整備する

ハコモノを先行
見通しから維持費を考えるの
ではなく、施設規模から算定

管理運営費は家賃収入で賄う
市が実施主体なので赤字は市が負担
管理運営費は来年度予算で示す

去年の「道の駅」の教訓
赤字を生み出す悪しき手法
議会にも責任

どう思いますか？

何ができますか？

報告③

公共交通

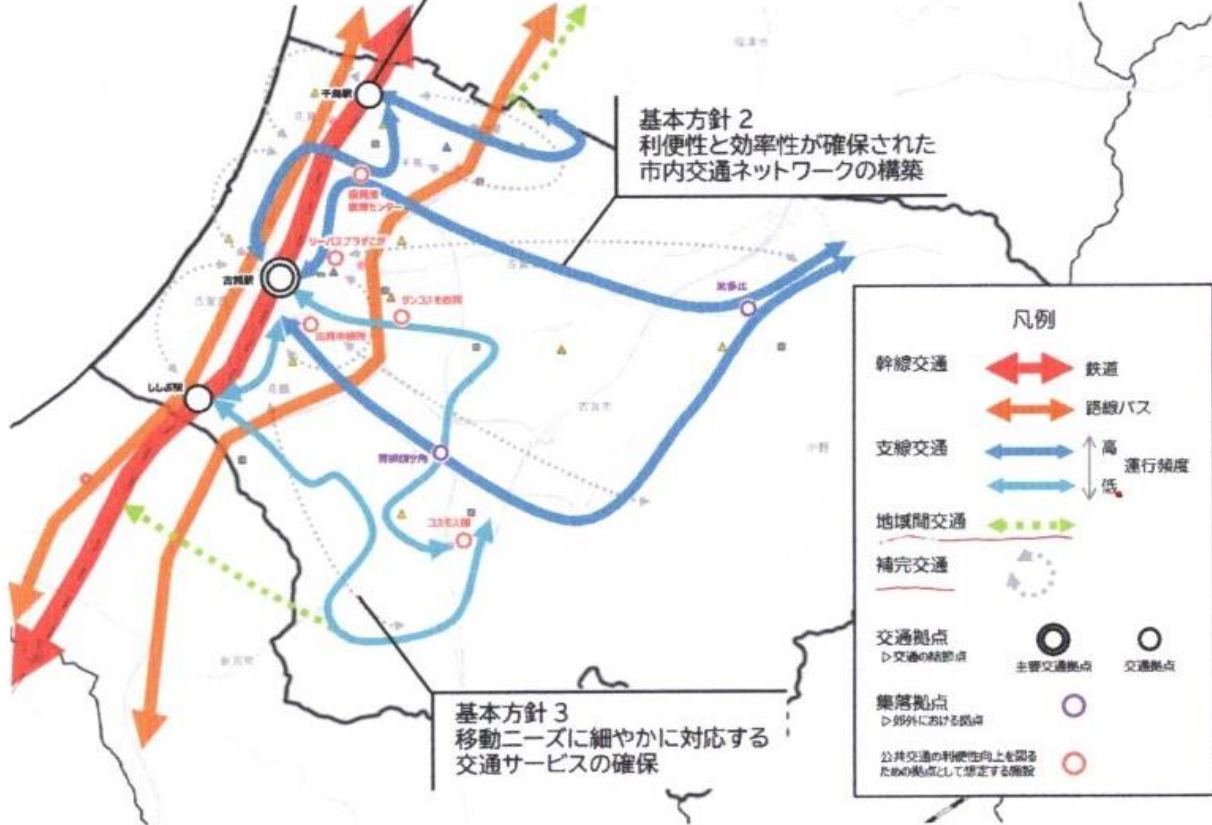
公共交通網形成計画を策定したが・・・ 古賀市の移動手段は改善されるだろうか？

【公共交通ネットワークの将来イメージ】

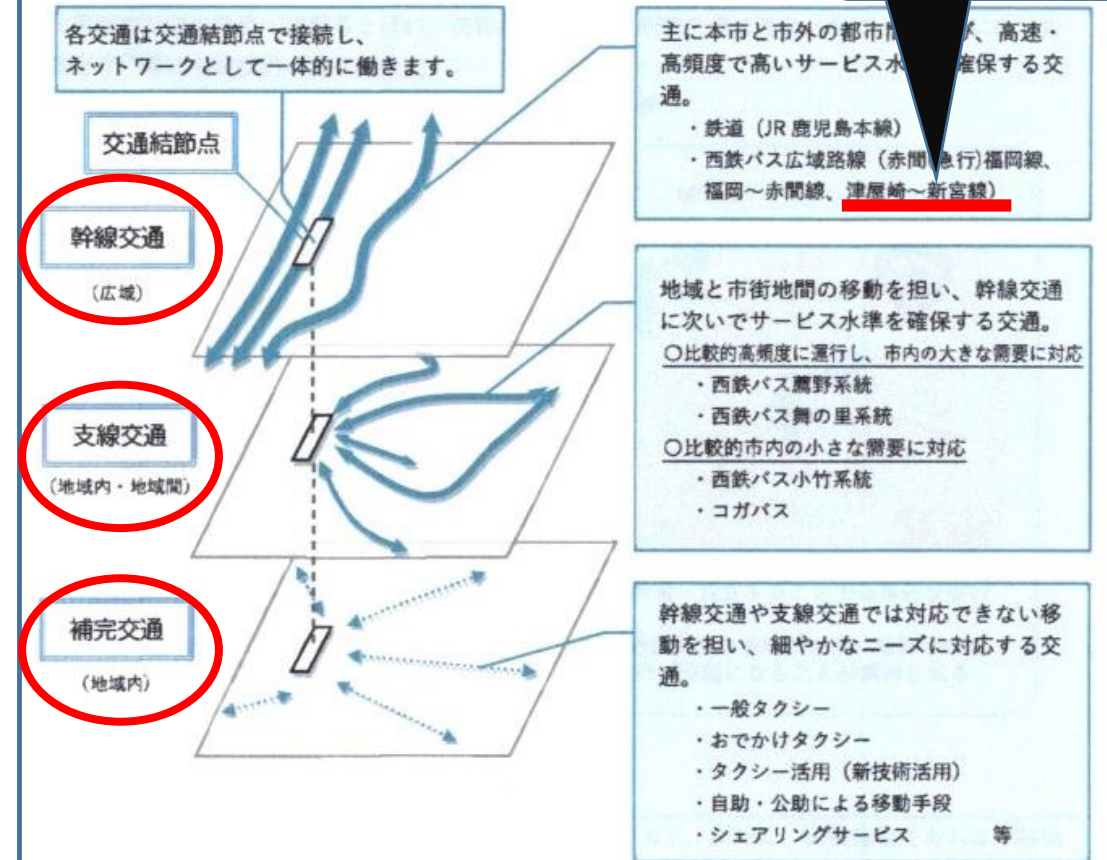
基本方針1 市外への外出を確保する鉄道・広域路線バスの維持及び駅の交通結節機能の強化

基本方針2 利便性と効率性が確保された市内交通ネットワークの構築

基本方針3 移動ニーズに細やかに対応する交通サービスの確保



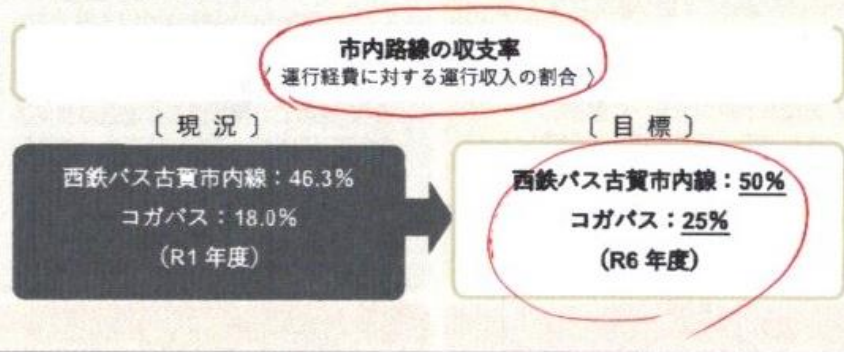
<交通ネットワークの階層イメージ>



9月末で廃止

基本目標 1: 地域公共交通の持続可能性の向上

市内交通ネットワークにおいては、広域路線との一体性を高め、移動需要に応じ効率化により運行経費の抑制を図ります。同時に、医療・福祉、まちづくり等の他分野や、隣接市町と連携しながら、新たな技術を取り入れつつ、利便性向上・利用促進に取り組むことで、地域公共交通の持続可能性向上を目指します。指標として、【市内路線の収支率】の改善を目指します。

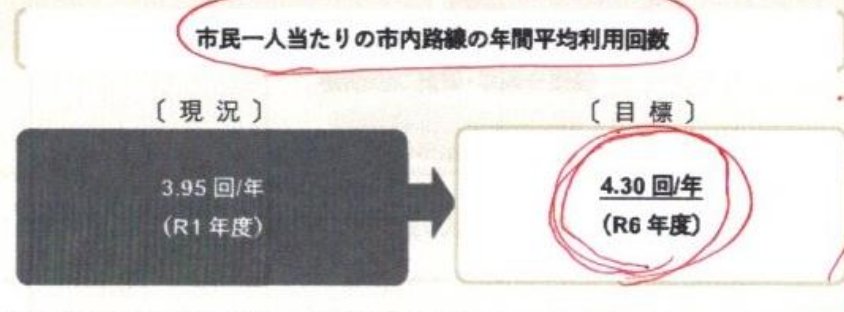


2018年度 25万 63人
2019年度 22万7444人

基本目標 2: 利用の増加

運行内容の見直しや、利用環境の改善、利用する上で必要な細やかな情報提供を行うことで、市民に地域公共交通の利便性を感じてもらえるようにするとともに、市民の理解・関心を高めることで、公共交通を利用する機運を高め、市民の利用が増加していくことを目指します。

指標として、【市民一人当たりの市内路線の年間平均利用回数】の増加を目指します。



公共交通の5年後の目標とスケジュール

利用者員数25万人目標は放棄？
交通空白対策の具体化は？

【施策1の具体的な事業】

| 事業 | スケジュール | | | | | 実施主体 |
|--|----------------------|-----------|--------|-----|-----|--------------|
| | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 | R6年 | |
| 事業1-1 現行路線の見直し（階層化） ①西鉄バス古賀市内線・コガバスの一体的な見直し ②乗り換えしやすいダイヤの設定 | 再編計画の検討 | 再編事業実施 | ダイヤ見直し | | | 古賀市 交通事業者 |
| 事業1-2: 対応する移動ニーズの拡大 ①新たな技術の活用に向けた調査・研究 ②市外への移動ニーズへの対応に向けた検討 | 実態調査 ・情報収集 | 事業スキームの検討 | 実験実施 | | | 古賀市 交通事業者 |
| | 隣接市町との協議 再編事業と合わせた調整 | | | | | |

2020 21 22 23 24

公共交通に関する田辺市長の発言

「公共交通ネットワークの問題を考えるに当たって重要なことは、100人いれば100通りのニーズがあり、**万人が完全に満足できる形を作ることとは不可能**である。多様なニーズの調和点を見出し、地域社会の最適解を導くしかない」**…新たな計画を策定した意味を理解していない**

「市民の皆さんには**現に存在する公共交通ネットワークにライフスタイルをあわせて利用する**ということ念頭に置いていただきたい」**…利用しにくい現状をどう思うのか**

報告④

第5次総合計画

2020年

2021年

2022年

T
M

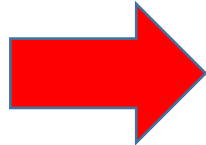
4~5月



9~10月

10~?月

7月



11月

意見

大学生

5~6月



7~10月

審議会

新型コロナ

10~3月



1月~7月

PC

審議会まで4ヶ月
議会上程まで11ヶ月

5~6月

詰め込み

市民意識とのズレ

熟議の不足

置き去り気味な

コロナ教訓とSDGs

9月

基本構想案の議会上程

1~2月

行政経営システム
再構築、BPR導入

アクションプラン作成

4月

第5次総合計画始動

策定の1年延期

市民意識調査

ワークショップ

SDGs講演会